

SOLIDWORKS

参加費無料  大塚商会

活用研究会

SOLIDWORKS保守ユーザー様向け

第22回

10:15~17:30
(受付9:50~)

2017年

9/7
THU

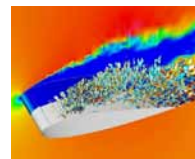
主催：株式会社大塚商会 協賛：ソリッドワークス・ジャパン株式会社
会場：大塚商会 関西支社 大阪市福島区福島 6-14-1 大塚梅田ビル 5F (JR 環状線 福島駅より北へ徒歩 6分)
申込：<https://www.otsuka-shokai.co.jp/event/region/17/w0907swk/>

10:15 ~ 10:30 **ご挨拶**：発起人挨拶及びスタッフ紹介、参加者同士での名刺交換

基調講演 ※本セミナーは東京で行われる SOLIDWORKS ユーザー会のライブ中継になります。

【S1】 10:40 ~ 12:10 『**形状工夫で性能を求める時代からの脱却**

— 流れを自在に操る技術の獲得を目指して —』



ライブ中継

東京理科大学工学部経営工学科 教授

宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 宇宙科学研究所名誉教授

藤井 孝藏 氏

飛行機、高速鉄道、自動車、さらには風力発電装置、冷却用ファンなど流れを扱う機器は、形を工夫することで性能の向上をすすめてきたが、形状工夫での性能向上はすでに限界にきており、努力の割に得るところは小さい。

最近、流れ研究の世界では流れをいかにコントロールするか（流れ制御）の実利用に関する研究が世界的にも盛んになってきている。2枚の薄い電極と誘電体からなるプラズマアクチュエータは小さな流れ変化で大きな流れをコントロールする装置である。本当の普及にはまだ数十年かかると考えているが、筆者らの解説記事がきっかけとなり国内の研究者数は急激に増えた。航空機の翼から自動車や風力発電装置までその応用範囲は非常に広く、すでに多くの企業が研究を開始している。

私たちはこのデバイスを単に流体力学的な性能向上の道具としてではなく、形状工夫のいらない世界への夢の扉だと考えている。本講演では、先端スーパーコンピュータを利用した大規模数値シミュレーションとそれを支える各種実験を通じて、なぜ非常に小さなエネルギーで大きな流れのコントロールが可能になるのかをお話し、学術研究による現象の理解を産業利用のデザインガイダンスにつなげていく一例として参考にしていただきたい。

合わせて、講演者の40年の流体数値シミュレーションと多くの企業との共同研究についてお話しすることで、大規模なシミュレーションの持つ意義、将来動向などについてもご説明する。

<講師略歴>

1974年（昭和49年）3月 東京大学工学部航空学科卒業
1980年（昭和55年）3月 東京大学大学院工学系研究科航空学専攻博士課程終了
1997年（平成9年）7月 文部（科学）省 宇宙科学研究所教授
1997年（平成9年）12月 東京大学大学院・工学系研究科 航空宇宙工学専攻教授
2015年（平成27年）4月 宇宙航空研究開発機構（JAXA）宇宙科学研究所名誉教授
2015年（平成27年）4月 東京理科大学工学部経営工学科（現 情報工学科）教授

◆ 著作～投稿記事

- ・絵でわかる宇宙開発の技術 講談社、2013
- ・応用数値ハンドブック 浅倉書店、2012
- ・「計算力学と社会」の中の「航空宇宙」、2001
- ・流体力学の数値計算法、東大出版会、1994
- ・スキーは頭で滑る、テクノライフ選書、オーム社、1997 他



事例講演 ※本セミナーは大阪会場でお話しいたできます。

【A2】 13:10 ~ 14:00 『**SOLIDWORKS Simulation の設計・生産プロセスでの活用と人財育成について**』

オムロン株式会社 グローバルものづくり革新本部 生産技術革新センター 要素技術部 岡田 浩 氏

SOLIDWORKS Simulation のメリットは使いやすさです。この利点を生かし弊社では、設計・生産プロセスの中で、SOLIDWORKS Simulation を CAE 活用推進の核として活用しています。社内事業部の業務プロセスを分析し、設計者が自ら解析を実施したほうが良い場合と CAE 専任者が解析を引き受ける場合に切り分けることで、開発業務全体の効率化を図っています。その際、設計者・解析専任者を問わず、解析を上手く活用するためにはどのようにスキルアップしていくかを考えることが重要です。今回は、オムロングループでの活用事例と、長期的視野に基づいた人財育成の考え方について講演いたします。

特別講演 ※本セミナーは東京で行われる SOLIDWORKS ユーザー会のライブ中継になります。

【A3】 14:20 ~ 15:10 『**電卓代わりに設計者 CAE が広がるためのポイント**』

ニコラデザイン・アンド・テクノロジー 水野 操 氏

3DCAD と同じ環境で使用できるいわゆる設計者 CAE は、その機能面で考えた時にはすでに十分に進化しているといえます。しかし、解析機能の恩恵を十二分に享受しているユーザーも増えている一方で、CAE に魅力を感じつつも様々なハードルゆえに CAE の活用に踏み込めない中小製造業も目に見えます。新たに CAE 活用を試みている中小製造業の現場支援などを行った経験も踏まえて、今後さらに設計現場に CAE を広げていくポイントについて講演いたします。

お申込みは ⇒ <https://www.otsuka-shokai.co.jp/event/region/17/w0907swk/>

【S1】【A2】【A3】の基調講演、事例講演、特別講演の詳細です。裏面のセミナー案内もご覧ください。

SOLIDWORKS 保守ユーザー様向け SOLIDWORKS

活用研究会

第22回 参加費無料  大塚商会

2017年9月7日(木) 10:15 ~ 17:30

10:15 ~ 10:30 **ご挨拶**：発起人挨拶及びスタッフ紹介、参加者同士での名刺交換

【A1】 10:40 ~ 12:10

株式会社 大塚商会 関西 CAD サポート課 植松 光一

3D データ活用体験 『SOLIDWORKS Composer』のご紹介&体験セミナー

QCD の改善は製造業の永遠のテーマです。3DCAD がそこに大きく貢献したことは周知のとおりですが、3D データにはまだまだ効果を引き出せる可能性を秘めています。「SOLIDWORKS Composer」を使えば、SOLIDWORKS の 3D モデルを利用してパーツカタログや組立アニメーションなどを簡単に作成できます。特殊なデザインツールの知識も必要なく、前倒してプレゼンデータやマニュアルを作成できるため業務プロセスの改善にも繋がります。貴社の製品にまつわる情報伝達のあり方をスムーズに革新できるツールです。ぜひこの機会にご体験ください。

- ・組み立て手順書
- ・製品マニュアル
- ・トレーニング教材
- ・販促資料



コスト削減と開発期間の短縮を実現！

【S1】 10:40 ~ 12:10

基調講演

ライブ中継

詳細は表面をご確認ください

Lunch タイム

【A2】 13:10 ~ 14:00

事例講演

詳細は表面をご確認ください

【A3】 14:20 ~ 15:10

特別講演

ライブ中継

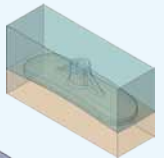
詳細は表面をご確認ください

【A4】 15:20 ~ 16:20

株式会社 大塚商会 関西たよれーるコンタクトセンター 岩崎 有美子

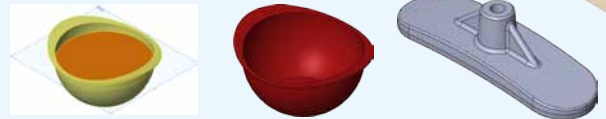
『知って得する SOLIDWORKS 便利テクニック塾』～ちょっとしたテクニックやコツで運用が改善！～

SOLIDWORKS の技術サポートをしている担当者より、お客様からよくいただくご質問とその回答、便利だけれど意外と知られていない手法や機能をご紹介します。例えば、内部の体積を簡単に計算できる“交差ツール”、金型データから成形品を交差ツールで作成することもできます。また、バージョンアップすることで普段使っているコマンドに新しいオプションが追加されていたり、知って得する設定やテクニックをご紹介します。



お客様マイページ ~新機能や「困った！」を解決する記事を掲載中~

<https://mypage.otsuka-shokai.co.jp/>

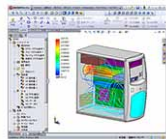


【A5-1】 16:40 ~ 17:30

ちょっとしたテクニックやコツで運用が改善！ SOLIDWORKS Flow Simulation Tips/Tricks&新機能紹介セミナー

株式会社 構造計画研究所 様

SOLIDWORKS Flow Simulation の技術サポートをしている担当者より、お客様からよくいただくご質問とその回答、便利だけれど意外と知られていない機能や手法などの有益な情報をご紹介します。また、最新 Ver を含め近年追加された新機能から、有効活用できるものをいくつか抜粋してご紹介します。



ライブ中継

【A5-2】 16:40 ~ 17:30

サーフェス機能を探ってみよう ～サーフェステクニック基礎編～

株式会社 大塚商会 たよれーるコンタクトセンター 石川 雅夫

ソリッド機能だけでは自由な曲面形状を作成するには限界があります。部品全体が曲面で構成されるような形状を作成する場合、サーフェス機能により 1 面ずつ最適な手法を使用してモデルを作成することが可能です。今回は SOLIDWORKS に搭載されているサーフェスコマンドの紹介と実際のモデル編集にてどのように使用されるのかをご紹介します。



お申込みは ⇒ <https://www.otsuka-shokai.co.jp/event/region/17/w0907swk/>

<http://www.facebook.com/swkk.jp>

ご存知ですか？

SOLIDWORKS 活用研究会
facebook

いいね！やコメントを、
お待ちしております。



開催内容に関するお問合せは

(株)大塚商会 関西 CAD プロモーション課：若宮

TEL 06-6452-5474 kansai-cad@otsuka-shokai.co.jp

日本最大級の CAD 情報サイト！

www.cad-japan.com

CADJapan

検索